

2025年5月

学生宿舎等への申請希望者および居住者の皆様へ

東京大学の学生宿舎等へのオールジェンダーフロア導入に関する方針は、次のとおりとなりますので、お知らせします。

なお、宿舎ごとにオールジェンダーフロアの導入状況や設備が異なります。入居を希望する方は、宿舎それぞれの募集要項などを必ず確認の上、申請してください。

宿舎におけるオールジェンダーフロア導入の趣旨について

本学では、『東京大学憲章』において多様性尊重の理念を示すとともに、2022年6月に『東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言』を制定し、ダイバーシティ（多様性）の尊重及びインクルージョン（包摂性）の推進という本学の指針を公表しました。さらに、2024年2月には「東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン」を公表しました。

また、宿舎等は、多様な属性、背景、価値観を持つ大学構成員が日々の生活の中で相互理解を深め、異文化交流・国際交流の推進を図り、もって幅広い人間関係を構築することを期待して設置されています。

このような理念の下、オールジェンダーフロアは、性別・性自認を問わずに入居できる包摂的なフロアとして設置します。オールジェンダーフロアを選択したくない利用者のために「男女別フロア」を残しつつも、個人のプライバシーと安心・安全が十分に担保できる環境を整えば、オールジェンダーフロアを基本とすることを、大学の宿舎運営の方針とします。

その実現のために、各宿舎の建築上の特性などを考慮し、男女別フロア以外の選択肢を増やしていくことで、多様な学生が安心して生活できることを目指します。